

令和7年度



園だより 11月号



杉並区立下高井戸子供園

教育目標 “しあわせいっぱいの子供園”

〇もりもりそだつげんきなからだ 〇たいせつななかまとじぶん 〇かんじるころとあたま

「芸術の秋」「学びの秋」

園長 原 麻弓



あんなに暑かった夏が過ぎ去り、肌寒い日が増え、季節は秋に変わりました。

秋は昔から「〇〇の秋」とたくさんの名がつくほど、豊かな季節です。皆さんの秋はどのような秋でしょうか。「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」…楽しいことがたくさんありますね。

さて、子供園では11月14日（金）に、いよいよ、杉並区教育委員会教育課題研究の発表を迎えます。令和6年度から2年間にわたり進めてきた研究の成果を、杉並区内、東京都内の就学前教育施設や小中学校の先生方に発表する機会です。

研究主題は「夢中になって遊ぶ幼児の“時”を意識して ～つくって遊ぶ場面から環境構成と援助を考える～」です。

特に、「つくって遊ぶ場面」に焦点化したのには理由があります。

モノをつくることには、いろいろな素材や用具に「触れてみよう」とする気持ち、こんなものを「つくってみたい」という気持ちなど、子どもたちが自らそう思う主体性があります。つくって遊ぶうちに、いろいろな手先の技能を身につけ、さらに

工夫してつくろうとしたり試してみたいくなったりもします。自分でつくったものを使って遊ぶことは、子どもたちに大きな自信を与えます。

講師の淑徳大学教授 槇英子先生からは、子どもたちの表現したい気持ちも、表現の方法も、丸ごと受け止めることの大切さを学びました。

材料もつくり方も決まっている作品づくりはつまらない！子どもたちはもっと自由に、思いのままにつくったりかいたりしていいのだ！と私たち教職員は頭も心もほぐしてきました。

子供園はまさに「芸術の秋」「学びの秋」を迎えようとしています。

子どもたちのありのままの表現を丸ごと受け止め、それを子どもたちと一緒に面白がれる大人でありたいと思います。

教育課題研究の発表に関する資料は、下高井戸子供園ホームページからご覧いただけます。

研究発表に際しまして、写真使用の承諾、保育時間の変更等、保護者の皆様には多大なご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。